

令和5年度（2023年度）活動記録（No.24）

# 非核・平和はみんなの願い

【令和5年4月～令和6年3月】



編集 非核・平和をすすめる西東京市民の会

発行 西東京市

# 目 次

非核・平和都市宣言	1
西東京市平和推進に関する条例	2
非核・平和をすすめる西東京市民の会申し合わせ	3
非核・平和をすすめる西東京市民の会の組織	4
2023年度の活動を振り返って	5
1年間の活動	8
西東京市平和の日	9
広島平和の旅	10
非核・平和パネル展	12
ピースウォーク	13
非核・平和学習会	17
常設展示	21
非核・平和都市宣言（英語翻訳）	22
非核・平和都市宣言（スペイン語翻訳）	23
資料	24

# 非核・平和都市宣言

私たちは生きている。

おおくの人々が、それぞれの習慣や宗教をもち  
様々な考え方と、異なる環境の下で生活している  
この地球で

私たちは持っている。

この地球上で、健康で幸せな生活をする権利を  
異なる考え方の人々を差別しない義務を

私たちは知っている。

おおくの人々が、今なお戦争で傷つき命を失っていることを  
住みなれた平和な生活の場を追われて飢えていることを

私たちは訴える。

必要なのは笑顔での話し合いであることを  
必要なのは人類愛と思いやりであることを

私たちは宣言する。

あらゆる人を傷つける地雷や武器をなくすことを  
あらゆるものの破滅を招く核兵器をなくすことを  
地球上から戦争をなくすことを

私たち市民のこの声と願いを

世界に広く訴えるために

非核・平和都市 西東京市の  
宣言とする。

平成14年1月21日  
西 東 京 市

# 西東京市平和推進に関する条例

平成13年1月21日  
条例第2号

## (目的)

第1条 この条例は、西東京市（以下「市」という。）における平和行政の基本原則並びに平和事業の推進及び平和の日の制定について定め、もって市民の豊かで平和な生活の維持向上に資することを目的とする。

## (基本原則)

第2条 市は、世界の恒久平和を願う市民の精神に基づき、平和施策を市民の協力と参加のもとに推進する。

## (平和事業の推進)

第3条 市は、次に掲げる事業の推進に努めるものとする。

- (1) 平和の意義の普及及び平和意識の高揚
- (2) 平和に関する情報の収集及び提供
- (3) 平和に関する各種行事の開催及び後援
- (4) 平和に関する他の諸都市との交流
- (5) 前各号のほか、平和施策の推進に関し必要な事業

## (平和の日)

第4条 4月12日は、西東京市平和の日とする。

2 市は、西東京市平和の日に、平和の意義を確認し、平和意識の高揚を図るため、記念行事を実施する。

## (委任)

第5条 この条例の施行に関し必要な事項は、市長が別に定める。

## 附 則

この条例は、平成13年1月21日から施行する。

# 非核・平和をすすめる西東京市民の会申し合わせ

## 1 名称

この会の名称を、「非核・平和をすすめる西東京市民の会」と言います。

## 2 趣旨

旧田無市は、1984年8月6日、「非核・平和都市宣言」を行いました。

旧保谷市は、1982年10月1日、「憲法擁護・非核都市の宣言」を行いました。

西東京市は、この二つの宣言の趣旨に則り、2002年1月21日「非核・平和都市宣言」を行いました。

この西東京市の宣言の趣旨を、西東京市とともに市民一人ひとりに広め、平和な世界への実現に向け、思想、信条の違いを越えて、世界中の人々と手をつなぎ合い、市民の創意工夫でいろいろな活動を行います。

## 3 事業、活動の進め方

会の事業、活動は、市民が主体となって、西東京市と提携しながら、市の非核・平和事業予算をもとに進めていきます。

## 4 世話人

会の趣旨に賛同する市民(在勤、在学者を含む)は、随時世話人となることができます。ただし、個人参加とします。

## 5 役員

会の代表として、会長1名をおきます。

会長を補佐するために、副会長をおきます。

事業の推進を図るために、事務局長及び若干名の常任世話人をおきます。

常任世話人の中に、広報、庶務などの担当をおくことができます。

## 6 任期

役員の仕事は1年とし、再任を妨げないこととします。

## 7 会議

世話人会は、年2回以上開き、役員を選出し、事業計画、予算計画を決定します。常任世話人会は、事業、活動を推進します。

## 8 市民集会

全市民を対象にした集会を、年1回以上開きます。

附則 2001年7月7日決定  
2003年6月7日一部改正

## 非核・平和をすすめる西東京市民の会の組織

会 長	山本 恵司			
事務局長	山口 あずさ			
常任世話人	板橋 史夫	小林 悟	鈴木 治夫	
	日野 夕起子	藤川 利子	穂坂 晴子	
	安井 精二	横山 年三	渡部 國夫	
世 話 人	柏木 由美	久保田 真弘	小林 力	
	崎山 正美	坂口 光治	笹井 春季	
	高橋 良彰	武田 五郎	寺本 匡利	
	栃木 裕	富岡 いづみ	中村 雅実	
	並木 和子	益留 俊樹	松村 哲雄	
	宮崎 進一	山崎 巖		

(五十音順)

### 世話人になりませんか

「非核・平和をすすめる西東京市民の会」は、平和を愛する市民の集いです。市民が主体となって発想した企画を、行政と一体になって実施しています。

自分自身の発案したプランが事業活動として実現し、平和に貢献することができます。

西東京市の非核・平和都市宣言の「必要なのは笑顔での話し合い、人類愛と思いやり」をモットーに、更に大きく輪を拡げていきたいと思えます。戦争を知らない世代からの斬新でユニークなアイデアも期待しています。ご希望の方は、協働コミュニティ課までお問い合わせください。

## 2023 年度の活動を振り返って

この年もまた戦争の年であった。

ウクライナでのロシア侵攻に加え、パレスチナの地ではイスラエルの軍隊が女子供老人を見境なく殺している。国連は全く機能せずこの蛮行を止められない。33000 この数字はパレスチナで直接殺され続けている数字です。毎日のように茶の間に流れる子どもたちの映像に心が痛みますが、では私たちは何をと考える時戸惑いがある方も多いと思います。また、マスメディアもどのような視点から報道しているのかも疑問に持つこともあります。

この国も 79 年前、本土防衛との勇ましい掛け声とともに、350 万のかけがえのない命と全国の焼け野原を引き換えに手に入れた平和の国づくりをいつまで維持できるのかは私たち市民一人ひとりに責任が掛かってきています。

79 年前の西東京市でも田無駅前には空襲を受け多数の市民が亡くなっています。戦争の記憶を忘れてはならないとの思いを込めて、田無駅前に平和のリングが設置されています。また、西東京市では「非核・平和都市宣言」を行い、市民と共に平和を考えていこうと年間を通じてパネル等の展示や平和映画会、講演会を行い、平和を学び考える場を作っています。

「非核・平和を進める市民の会」は西東京市とともに平和のための活動を市民に呼びかけを行っています。市民活動の基本は声掛けだと思っています。この冊子を一読され、また、各種イベントを通じて少しでも平和への思いを私共と「共感」「共有」していただける方がいるならば、年間を通じて行われる平和のイベントに参加・協力をお願いします。

1980年代、田無市・保谷市の時代に宣言を行い、両市とも市民参加で宣言事業をすすめました。

西東京市になる前、田無市、保谷市が宣言を行ったのは1980年代初頭です。この頃、世界に7万発もの核兵器が米ソを中心に各地に配備されていまして、世界はまさに一触即発の、人類滅亡の危機の中に追い込まれていきました。「地球の破滅」「核戦争3分前」と新聞などに書かれています。

この頃、ヨーロッパでは数十万人規模での核兵器反対の集会在連日開かれました。そのような中から「デモだけでは、核戦争は無くせない」と自治体の連帯を通して核廃絶の運動も提起されていきました。1980年11月にイギリス、マンチェスター市で「核の配備と購入を行わない」という決議を挙げたのです。そしてこの決議は「我々（マンチェスター市）だけでは、ほとんど意味を持たない。イギリスの全自治体が同様に核の配備と購入を行わないと宣言することによって核廃絶は進む」と他の自治体も非核宣言をすることを呼びかけました。この呼びかけに、世界中の自治体が応え「非核・平和宣言」はまたたくまに世界中に広がりました。

日本でも同様に多くの自治体が「非核・平和都市宣言」を行い、自治体を中心にして核廃絶の動きを加速させていきました。

田無市も保谷市も「宣言」行いました。田無市は1984年8月6日に「非核・平和都市宣言」を、保谷市は1982年10月1日「憲法擁護・非核都市の宣言」を行いました。

宣言当初から、田無市は「非核・平和をすすめる田無市民の会」（会長・寺村輝夫、事務局長・鈴木治夫）が、保谷市は「護憲平和を守る保谷市民の会」（会長・城加秀治）が、それぞれ市民参加での宣言事業を進めていきました。保谷市は、日本非核自治体宣言協議会が結成された当初は協議会の副会長をしていました。

### 核兵器禁止条約（2020年1月22日発効）

この非核自治体の運動は、世界に広がりました。現在は、非核自治体協議会の動きから、平和首長会議も生まれ、世界の8,240都市が加盟し、日本では西東京市を含め1,739の都市が加盟しています（※2024年4月1日時点）。

そして、世界から核兵器を無くしていこうという初めての国際条約である「核兵器禁止条約」が2021年1月22日50か国の批准に達し発効しました。しかし残念ながら日本は参加していません。

広島に核兵器が落とされてから79年の歳月が流れました。あと少しで1世紀が過ぎていきます。現在もなお世界中には1万3千発も核兵器が配備されており、誰かがボタンを押せば地球は滅びる状況が続いています。

非核・平和都市宣言は、核や戦争を無くすことが目的

「西東京市平和の日」（「西東京市平和推進に関する条例」）、非核・平和事業は市民参加で

西東京市の宣言も他の自治体の宣言と同様「武器をなくすこと、核兵器をなくすこと、地球上から戦争をなくすこと」を目的としています。

いろいろな事業は、この宣言の目的を実現させるための一つの方法です。単にいろいろな事業をすることが目的ではありません。

西東京市の非核・平和事業は、「西東京市平和推進に関する条例」に基づいて進められています。この条例は西東京市の誕生の日、2001年1月21日に条例第2号として定められたものです。

西東京市誕生と共に条例第2号として定められたこの条例は、合併以前の1995年に田無駅の北口再開発により、北口ロータリーに平和のリングの設置、非核・平和都市宣言文の設置、田無戦災記念碑の設置と併せて「田無市平和推進に関する条例」と定められたものです。この条例には、4月12日を「田無市平和の日」と定め、その年から毎年、その日は爆撃などで亡くなった多くの方々の慰霊の催しを、被災した田無駅北口の地（アスタビル）にて開催してきています。

この条例の特徴の一つは、「市民の協力と参加」と「市民参加」を明示していることです。田無市、保谷市での方法を西東京市となっても継続して市民参加での事業の進め方をしています。

### 市民の公募による「宣言文」

西東京市の非核・平和都市宣言の素晴らしい点は、いくつかありますが「宣言文」もその一つです。

田無市と保谷市には、それぞれ非核・平和宣言がされていましたが、合併に伴い宣言は無くなりました。ですからこの会の結成の時にはまだ西東京市としての宣言は行われておりませんでした。西東京市の宣言は市民の手作りで、との願いから、市民参加で作成することとなり、「西東京市平和都市宣言市民委員会」が市民10名で合併した年の8月20日に設置されました。市民委員会で宣言文を市民から公募しますと、わずか一ヶ月の間に58作品が寄せられました。

市民委員会の中で議論して、公募作品の中から2作品を12月7日に市長に報告しました。そして、翌2002年1月21日の市制施行一周年に、市長に報告した作品の中の一つである現在の宣言文が、西東京市の「非核・平和都市宣言」となりました。宣言文の作成過程については、市民委員会からの報告書『「非核・平和都市宣言」に込められた思い』が発行されているので、詳しくはそちらをお読みください。

非核・平和をすすめる西東京市民の会

## 2023 年度 非核・平和をすすめる西東京市民の会 1 年間の活動

月 日	内 容
4月7日～12日	西東京市平和の日事業 田無駅北口アスタセンターコートにて西東京市戦災パネル等を展示
4月18日	第1回常任世話人会
5月21日	平和事業についての話し合い 「非核・平和をすすめる西東京市民の会申し合わせ」に基づいた、全市民を対象とした市民集会
5月16日	第2回常任世話人会
6月20日	第3回常任世話人会
7月18日	第4回常任世話人会
7月25日	広島平和の旅事前学習会 広島平和の旅の説明、被爆体験伝承者の講話
8月5日～6日	広島平和の旅 参加者8名
8月7日～10日	非核・平和パネル展 田無駅北口アスタセンターコートでパネル等を展示
8月15日	第5回常任世話人会
8月26日	夏休み平和映画会 ・「忘れてはいけない記憶～西東京市にもあった戦争・アニメ原爆の記～」上映 ・「広島平和の旅」報告会 ・「この世界の片隅に」上映
9月19日	第6回常人世話人会
10月17日	第7回常任世話人会
10月22日	ピースウォーク 柳沢公民館、しじゅうから第二公園、東伏見稲荷神社、下野谷遺跡公園、武蔵野中央公園
11月21日	第8回常任世話人会
12月19日	第9回常任世話人会
1月16日	第10回常任世話人会
2月20日	第11回常任世話人会
3月2日	非核・平和学習会 池内了さん講演会「世界平和のための日本の役割と私達にできること～未来に何が渡せるのか～」
3月19日	第12回常任世話人会

## 西東京市平和の日事業

日にち	4月7日（金）～12日（水）
場所	田無駅北口アスタビル2階センターコート
内容	記念式典、西東京市戦災パネル・1トン爆弾模型の展示等

西東京市は、平成13年1月21日の誕生と同時に「西東京市平和推進に関する条例」を制定し、4月12日を「西東京市平和の日」と定めています。

西東京市周辺では、昭和19年11月から翌年8月までに、十数回に及ぶ空襲の被害を受けました。それは当時、近隣市である武蔵野市に、アメリカ空軍の攻撃目標となった巨大な軍需工場「中島飛行機武蔵製作所」があり、その工場を狙った流れ弾によるものです。なかでも、昭和20年4月12日、アメリカ空軍のB29爆撃機が投下した多数の1トン爆弾によって、西東京市内でも100名以上の犠牲者が出ました。特に被害が大きかった田無駅北口周辺では、50数名の方々が防空壕などで死亡し、多くの家屋が全壊しました。

そこで、戦争の悲劇を忘れないために、西東京市は毎年4月12日を中心に様々な行事を実施し、平和の意義の確認や、平和意識の高揚を図る取り組みを行っています。

今年度は昨年度と同様、アスタセンターコートで西東京市戦災パネルや1トン爆弾模型の展示を行ったほか、「忘れてはいけない記憶～西東京市にもあった戦争・アニメ原爆の記～」を公開する等、多くの方が平和について考えるきっかけとすることができました。



【記念式典】



【会場の様子】

## 広島平和の旅

日にち	8月5日（土）～6日（日）
内容	平和記念式典への参列、被爆体験伝承者による講話、平和記念資料館等の見学
参加者	8人

西東京市では、核兵器の恐ろしさや戦争の愚かさ、そして平和の大切さについて学ぶ機会を市民に提供するため、被爆地である広島へ公募市民の方々を派遣する事業を行っています。

今年度は、8名が広島を訪れました。平和記念式典への参列をはじめ、原爆ドームや平和記念資料館の見学、事前学習会での被爆体験伝承者の講話などをおして、原爆や戦争がもたらす悲惨さや平和の大切さ、命の尊さについての理解を深め、この時期にヒロシマを訪れることの意味を改めて考えるなど、多くの体験を持ち帰りました。

### 【見学先等】

- 8月5日（土）
  - ・ 原爆ドーム
  - ・ 原爆の子の像
  - ・ 平和記念資料館
- 8月6日（日）
  - ・ 平和記念式典参列・献花
  - ・ 本川小学校



【広島平和記念資料館】



【広島平和の旅の参加者の皆様】

## 【参加者の感想】

- 4年前まで数年間、広島に住んでいた。東京で生まれ育った私は教科書の中での出来事としてしか捉えられなかったが、実際に住んでみて、継承していくことの大切さを感じた。
  - ぼくが広島に、すんでいたときは（6さい位の時）8月6日8時15分になると町じゅうにサイレンが鳴りひびいて、ほいくえんで、1分間もくとうした覚えがあります。またもくとうをやって、亡くなった人にお礼をしてこんなんだったなーとまた感じました。
  - 平和記念式典に参列し、8時15分に1分間、黙祷を捧げました。暑くてセミの鳴き声が響いていました。1分後、瞳を開け、空を見上げました。青空と真っ白な雲がありました。78年前、もっと暑かっただろうし、真っ暗な空と真っ黒な雲だったのかなあと想像したら涙が流れました。
  - 語り部の言葉が後世でも薄れることのないように今を生きる私達が言葉を歪曲することなく、後の世代へとつなげていく必要があると感じた。
  - 広島は路面電車が原ばくドーム、広島平和記念資料館、本川小学校などの、広島までしか見られない物がたくさんあって楽しかったけれど、かなしいことも、たくさんありました。広島に行くことで、たくさんのおことが知れてよかったです。
  - 「広島平和の旅」に参加することを主人が広島出身の同僚に話していたのですが、旅行の後、娘と私が献花をしてきたことを話すと「ありがとうございました」と言われたとのことでした。広島の人魂に刻まれたような平和への願い、原爆への思いなどを身近でも感じた出来事でした。
  - 広島に落とされたげんばくではかいされた広島を多くの人に知ってもらうために活動している人の力はすごいと思いました。
  - 資料館で目にしたのは紛れもない真実の出来事ですが目を逸らしたくなるほど怖い資料も沢山あって、足が震え上がりました。戦争は未来ある人々の命を奪います。今も遠い国では戦争が繰り広げられています。どうか1日も早く争いが終結しますように
- ※ 「広島平和の旅」事業の詳細については、「令和5年度（2023年度）広島平和の旅報告集」をご覧ください。

## 非核・平和パネル展

日にち	8月7日（月）～10日（木）
場 所	田無駅北口アスタビル2階センターコート
内 容	西東京市戦災パネル、ヒロシマ・ナガサキ被爆の実相等に関するポスター、平和と学びポスターセット、1 t爆弾模型、「平和宣言」広島市長・長崎市長、西東京市、令和5年度の広島平和の旅の報告、子ども・若者平和ワークショップ報告

西東京市では、これまでの戦争の悲惨な歴史を忘れず、平和を未来へ継承していくために、毎年夏に「非核・平和パネル展」を開催しています。

この「非核・平和パネル展」では、市内周辺で起きた空襲の被害や当時の暮らしの様子を紹介する西東京市戦災パネルや1トン爆弾模型、ヒロシマ・ナガサキ被爆の実相等に関するポスターを展示するほか、8月5日から6日にかけて行われた広島平和の旅の様子を報告しました。

戦争や平和について、自分事として捉えていただくきっかけとなる展示となりました。



【会場の様子】

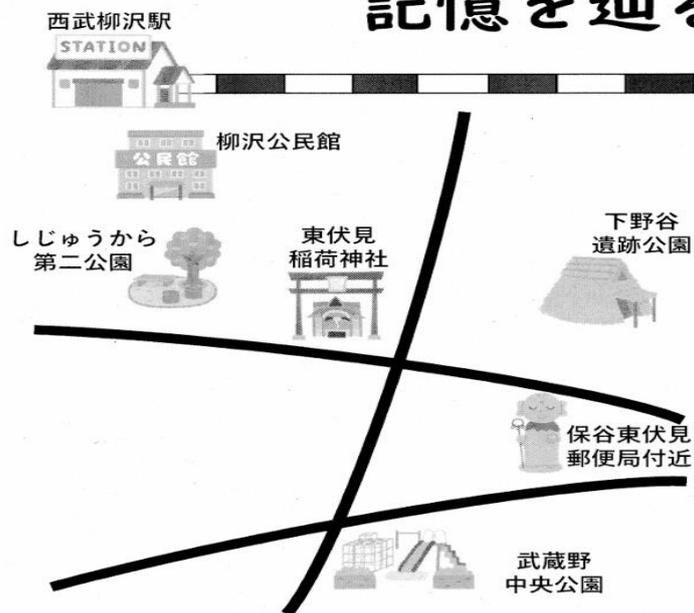
## ピースウォーク

- 日にち 10月22日(日曜日)  
10時柳沢公民館集合 12時30分頃武蔵野中央公園解散
- 内容 西東京市の忘れてはいけない記憶を辿る
- 参加人数 市民10人
- 行程 ①柳沢公民館／250キロ爆弾  
②しじゅうから第二公園／模擬原子爆弾  
③東伏見稲荷神社／中島飛行機殉職者慰霊碑  
④石神井川・下野谷遺跡公園／防空壕跡  
⑤武蔵野中央公園／中島飛行機武蔵製作所跡地

ピースウォーク2023



## 忘れてはいけない 記憶を辿る



### ①柳沢公民館／250 キロ爆弾

第2次世界大戦末期、西東京市（当時は北多摩郡保谷町）に落とされた250キロ爆弾の破片が柳沢公民館の入口に展示されています。

現在の武蔵野中央公園にあった中島飛行機武蔵製作所がアメリカ軍の第一の標的であったため田無・保谷では計17回もの空襲があり、多くの犠牲者が出ました。



250 キロ爆弾の破片

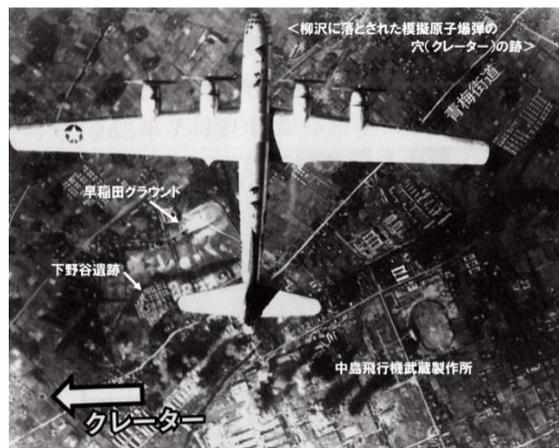
### ②しじゅうから第二公園／模擬原子爆弾

しじゅうから第二公園は柳沢公民館のすぐ南側にあります。1945年7月29日原爆の模擬爆弾（表面が黄色やオレンジ色に塗られていたのでパンプキンと呼ばれていた）がこの場所に落とされました。当時ここは畑でしたが、農作業をしていた女性3人が死亡、11人が重軽傷を負いました。

これはその11日後の同年8月9日、長崎に原爆を投下したB29爆撃機による原爆投下の訓練によるもので、私たちの町は原爆投下の練習台になっていたのです。



パンプキン爆弾模型



米軍撮影の模擬爆弾投下航空写真



模擬爆弾着弾爆発地点にて



### ③東伏見稲荷神社／中島飛行機殉職者慰霊碑

東伏見稲荷神社境内には、米軍の空襲による中島飛行機武蔵製作所の殉職者の慰霊碑があります。

中島飛行機は昭和13年（1938年）に東伏見稲荷神社に東伏見修養道場を奉納し、社員の研修を盛んに行った縁からとのことです。

### ④石神井川・下野谷遺跡公園／防空壕跡

下野谷遺跡公園は、南関東では傑出した規模と内容を誇る縄文時代中期の環状集落として国史跡に指定されています。

此処の地下には、この後訪ねる武蔵野中央公園にあった中島飛行機武蔵製作所の防空壕が掘られ、石神井川まで通じていました。

石神井川の右岸側遊歩道にはその出口があったとされますが、現在は埋め戻され石神井川側の出口を見ることはできません。



### ⑤武蔵野中央公園／中島飛行機武蔵製作所跡地

都立武蔵野中央公園の場所には、戦時中東洋一の航空機エンジンの大工場といわれた中島飛行機武蔵製作所の大工場がありました。そのために第二次世界大戦末期にはアメリカ軍の空襲の第一の標的となり、1944年11月から完全に破壊されるまで9回に及ぶ空襲を受けました。

この工場に近かった西東京市が空襲で多くの被害者を出したのはそのためです。また、この工場の地下にはコンクリートの地下道が張り巡らされ、石神井川右岸まで通じていたとされています。

現在は公園の一角に中島飛行機武蔵製作所の説明盤が置かれ、地下道の床面の一部が展示されています。



B29の爆撃照準点

**【参加者の感想】**

- 各ポイントでは幾つものパネルを使った説明が分かり易かったです。
- 晴天に恵まれ、歩く距離も丁度良かったです。
- 参加していろいろ知れてよかったのですが市報等で見学先の内容が事前にわかるともっと良かったと思いました。
- 戦争と地域を知ってもらうため、小学生の社会見学のコースにできないでしょうか。

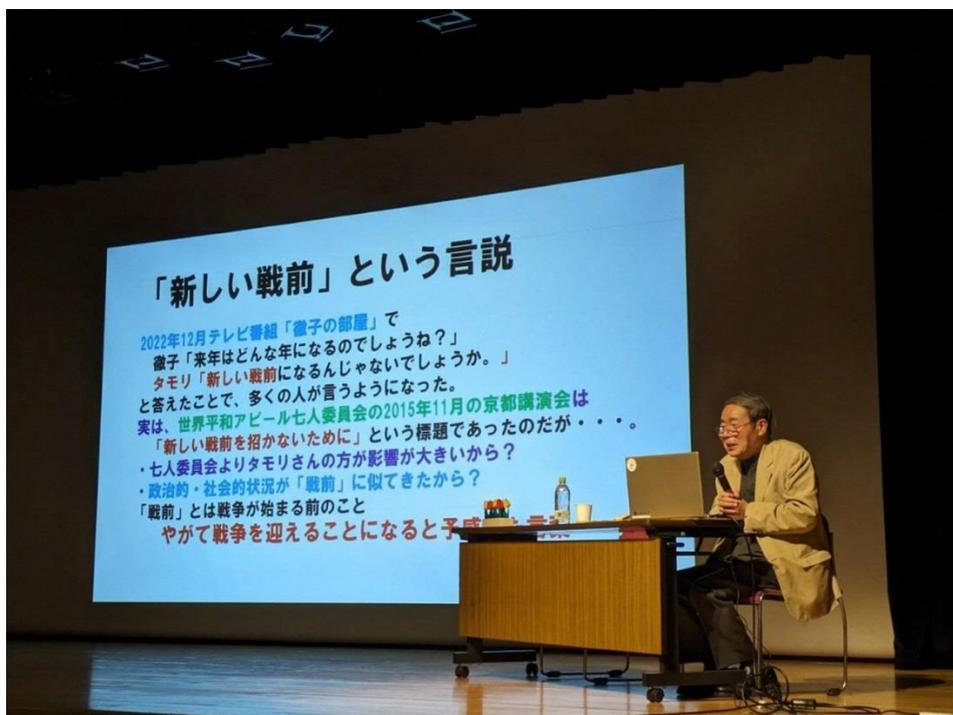
## 非核・平和学習会

日時 3月2日(土)  
場所 コール田無地下 多目的ホール  
内容 講演会「世界平和のための日本の役割と私たちにできること  
～未来に何が渡せるのか～」  
講師 池内 了(いけうち さとる) 氏

「非核・平和学習会」では毎年、非核・平和に関して講師を招き、講演会を実施しています。

今年度は、日本を代表する天文学物理学者であり、幅広い視点から長年世界の平和を訴え続けている池内名古屋大学名誉教授を講師に迎え、混乱する世界と「新しい戦前」といわれる我が国で「世界平和のための日本の役割と私たちにできること」についてご講演をいただきました。

当日は100人の方にお集まりいただき、会場の多くの方から活発なご意見やご感想をいただきました。



### 【池内了氏プロフィール】

- ・1944年兵庫県姫路市生まれ
- ・専門は宇宙物理学、科学技術社会論
- ・名古屋大学名誉教授 総合研究大学院大学名誉教授
- ・世界平和アピール七人委員会委員
- ・「九条の会」世話人
- ・「お父さんが話してくれた宇宙の歴史」（岩波書店）で産経児童出版文化賞、日本科学読物賞、「科学の考え方・学び方」（岩波ジュニア新書）で講談社科学出版賞、「科学者はなぜ軍事研究に手を染めてはいけないのか」（みすず書房）で毎日出版文化特別賞受賞



### 《著書》

- 「宇宙入門 138億年をよむ」（角川ソフィア文庫）
- 「科学はどこまで進化しているか」（祥伝社新書）
- 「科学者と戦争」（岩波新書）
- 「ねえ君、不思議だと思いませんか?」「科学と社会に望むこと」「彷徨える現代を省察する」（而立書房）他多数

## 講演要旨

ロシアとウクライナの停戦の目途もたないうちにイスラエルとハマスの軍事衝突が起きましたが、国連は機能せず、子供達を含む多くの民間人の犠牲が増えています。

一方、日本は防衛予算が増額される状況にありますが、こうした状況下、日本の役割と私達にできることは何か講演いただきました。

日本の安全保障戦略には4つの弱点があります。

- ① 食糧安保の脆弱性（食料自給率38%）
- ② 国内の多数の原発の存在
- ③ 自衛隊のセクハラ・パワハラ体質と深刻な隊員不足
- ④ 軍需生産からの民間企業の撤退

2022年12月のテレビ番組「徹子の部屋」でのタモリさんの発言「(来年は)新しい戦前になるんじゃないでしょうか」はその後広く伝わり、多くの人が使われるようになりました。

そこで太平洋戦争までの「かつての戦前」と、現代の「新しい戦前」を比較すると、世界情勢、日本の憲法の存在、経済施策、科学者の関わり方等の観点から多くの共通点と違いが見えてきます。

重要なのはかつての日本帝国憲法と戦後の日本国憲法の違いで、日本国憲法の三層構造と二つの精神を知ること、三原則「主権在民」「基本的人権の尊重」「平和主義」を理解することです。

そして「新しい戦前」を克服するためには、現在の日本国憲法の「日本はいかなる問題が起ころうとも、戦争ではなく、外交力・話し合いで解決することを宣言した」を基に世界の平和の担い手となることです。軍事力ではなく、人間力により戦争を抑止し、ピカソ（芸術）で平和を守ることです。



## 講演を終えて

昨今言われている「新しい戦前」は、漠然とした空気を表現した言葉ですが、実際の「かつての戦前」との共通点と違いを分かり易く説明していただき、決定的な違いは「平和憲法」を持ち続けていることであることを明確にしてくださいました。

そして「世界の平和のための日本の役割と私たちにできること」が私たちに説得力のあるメッセージとして伝えられたと多くの方から感想をいただきました。

「私たちは今、そして未来に向けて何をすべきか」—講演で感じたこと、考えたことを胸に、皆様とご一緒に地域から歩んでいきたいと思えます。

《文 非核・平和をすすめる西東京市民の会 穂坂晴子・板橋史夫》

### 【参加者の感想】

- 「軍事力」ではなく、「人間力」による戦争防止というのが良かったです。
- 先生の平和への思いが伝わってきました。ありがとうございました。
- 安全保障戦略の4つの弱点を含め、ニュースや新聞では学べないことが多く、とても勉強になりました。
- 現在の軍事情勢とそれに対して平和を守る行動の基本が分かり易く、戦争をさせない運動と外交の重要性を理解しました。とても良い企画・講演でした。
- 参加者に高齢者が多いと感じました。もっと若者の参加を望みたいです。

## 常設展示

西東京市で作成した「西東京市戦災パネル」や戦時中に市内に投下された1トン爆弾模型等を西東京市の郷土資料室において不定期で展示しているほか、戦争遺品等を田無庁舎2階ロビーで展示しています。

### ①「西東京市戦災パネル」、1トン爆弾模型等の展示 ②戦争遺品等の展示

場 所 ① 郷土資料室

② 西東京市役所（田無庁舎）2階 展示スペース

日 時 ① 不定期 午前10時～午後5時

② 常時 午前8時30分～午後5時

内 容 ① 西東京市戦災パネル、1トン爆弾模型等

② 戦争遺品等



【郷土資料室での展示の様子】



【西東京市役所（田無庁舎）での展示の様子】

## 非核・平和都市宣言（英語翻訳）

西東京市の「非核・平和都市宣言」をもとに、非核・平和をすすめる西東京市民の会が独自で翻訳しました。

英語翻訳：タラント・ジョン（西東京市在住）

### *Nonnuclear and Peace City Declaration*

*LIVING on this Earth, where many people exist in differing environments, with diverse customs and religions and varied ways of thinking;*

*HAVING both the right to enjoy a healthy and happy life on this Earth and the duty not to discriminate against people with different attitudes;*

*AWARE that even today people are being scarred and are losing their lives in wars, and that people are being uprooted from familiar habitats where they have led peaceful lives and are starving; and*

*URGING the need for mutual and amicable discussions, and the need for a love of humanity and compassion;*

*WE DECLARE our wish to eliminate landmines and weapons, which injure all kinds of people; to eliminate nuclear weapons, which wreak devastation on all kinds of things; and to eliminate war from the face of this Earth.*

*To convey our message and prayer broadly to the world, we hereby declare Nishitokyo to be a nonnuclear and peace city.*

*January 21, 2002*

*Nishitokyo City*

## 非核・平和都市宣言（スペイン語翻訳）

西東京市の「非核・平和都市宣言」をもとに、非核・平和をすすめる西東京市民の会が独自で翻訳しました。

スペイン語翻訳：在間直樹（西東京市在住）

### *Declaración de una Ciudad Libre de Armas Nucleares y Pacífica*

*Estamos vivos*

*Muchas personas tienen sus propias costumbres y religiones,  
diferentes formas de pensar y vivir bajo diferentes ambientes, en esta tierra.*

*Tenemos*

*El derecho a vivir una vida sana y feliz en este planeta  
Obligación de no discriminar a las personas que piensan diferente*

*Sabemos*

*Muchas personas todavía están heridas y perdieron la vida en la guerra.  
Ser forzado a abandonar el lugar pacífico donde solía vivir y morir de hambre.*

*Nosotros demandamos*

*Lo que necesitamos es una conversación con una sonrisa  
Lo que necesitamos es humanidad y compasión*

*Declaramos*

*No a las minas terrestres ni a las armas que dañan a todos  
No a las armas nucleares que condenan a todos  
No a la guerra en la tierra*

*Para atraer ampliamente estas voces y deseos de nuestros ciudadanos al mundo, haremos una declaración de la ciudad de Nishi-Tokyo como una ciudad libre de armas nucleares y pacífica.*

*El 21 de enero de 2002,  
la ciudad de Nishi-Tokyo*

## 夏休み平和映画会 上映作品一覧

年 度	作品名	監督名
平成 13 年	対馬丸ーさようなら沖縄ー	小林 治
平成 14 年	ホテル	降旗 康男
平成 15 年	月光の夏	神山 征二郎
平成 16 年	戦場のピアニスト	ロマン・ポランスキー
平成 17 年	コルチャック先生	アンジェイ・ワイダ
平成 18 年	あした天気にな〜れ！〜半分のさつまいも〜	中田 新一
平成 19 年	NAGASAKI1945 アンゼラスの鐘	有原 誠治
平成 20 年	夕風の街 桜の国	佐々部 清
平成 21 年	火垂るの墓	日向寺 太郎
平成 22 年	母べえ	山田 洋次
平成 23 年	TOMORROW 明日	黒木 和雄
平成 24 年	独裁者 The Great Dictator	チャールズ・チャップリン
平成 25 年	黒い雨	今村 昌平
平成 26 年	一枚のハガキ	新藤 兼人
平成 27 年	この子を残して	木下 恵介
平成 28 年	母と暮らせば	山田 洋次
平成 29 年	この世界の片隅に	片渕 須直
平成 30 年	この空の花ー長岡花火物語	大林 宣彦
令和元年	男たちの大和/YAMATO	佐藤 純彌
令和 5 年	この世界の片隅に	片渕 須直

## これまでに発行された戦争体験記一覧（1）

発行年	書名	発行者等
昭和44年	原爆の記	指田 吾一
昭和47年	保谷の被爆記	郷土史「保谷」発行会
昭和52年	戦争 生き抜いた私たち —寿講座生の手記—	田無市立中央公民館
昭和54年	歴史はとまってしまった —原爆投下の地、広島・長崎からの告発—	自治労田無市職員組合
昭和54年	中島飛行機製作所と田無 —中島航空金属株式会社と田無—	田無市立中央図書館
昭和54年	町を護る—空襲下の田無—	田無市立中央図書館
昭和55年	戦争を伝える 第1集～第18集	田無市立中央公民館 田無市立中央図書館
昭和55年	中島飛行機と田無—戦争を伝える・座談会の記録—	田無市立中央図書館
昭和57年	田無の戦災誌	田無市立中央図書館
昭和57年	五色の日記	小峰順誉（田無総持寺）
昭和57年	仲間につたえる戦争の体験記 —二度と戦争を許さないために—	田無市職員組合
昭和60年	戦時下の絵日記 —ある美術教師の青春—	佐藤多持
昭和63年	被爆者のお話と映画の集い	核戦争の恐ろしさを子どもらに伝える会
平成2年	私達の街にも、戦争があった	田無第一中学校地歴部
平成2年	なつくさ	保谷市戦争体験をつづる会
平成4年	21世紀への伝言 —私の戦争体験記—	保谷市

※ ここに掲載されている本・冊子は、市内図書館等で閲覧することができます。

## これまでに発行された戦争体験記一覧（2）

発行年	書名	発行者等
平成5年	21世紀への伝言—君のまちにも戦争があった—	保谷市
平成6年	田無 非核・平和運動資料集—田無 非核・平和都市宣言十周年記念— 上・下巻	非核・平和をすすめる田無市民の会、田無市
平成6年	戦争体験記	ほうや公民館だより
平成6年	散華乙女の碑	武蔵野女子学院
平成6年	八つ手の盆—田無の戦争体験を語る—	平和観音保存会
平成7年	21世紀への伝言	平和を見つめる田無のつどい実行委員会
平成15年	「平和を考える講座～その時、西東京市では・中島飛行機とのかかわりから考える～」記録集	西東京市芝久保公民館
平成15年	だれが戦争をはじめたの？—小学生からの質問 平和が一番—	村瀬敬子
平成21年	五歳の戦争	横山さよ子
平成21年	西東京市 市民の戦争体験記(一)	非核・平和をすすめる西東京市民の会、西東京市
平成22年	戦中日誌類からみた戦時下の武蔵野女子学院	武蔵野女子学院
平成22年	西東京市 市民の戦争体験記(二)	非核・平和をすすめる西東京市民の会、西東京市
平成23年	西東京市 市民の戦争体験記(三)	非核・平和をすすめる西東京市民の会、西東京市

※ ここに掲載されている本・冊子は、市内図書館等で閲覧することができます。

## 令和 5 年度 西東京市平和事業関係予算

事業名	予算額
西東京市平和の日事業費 講演会講師謝金 35,000 円	35,000 円
広島平和記念式典市民参加事業費 引率職員旅費等 116,000 円 広島平和記念式典市民参加事業委託料 460,000 円	576,000 円
平和映画会事業費 平和映画会上映委託料 220,000 円	220,000 円
非核・平和学習会事業費 講演会講師謝金 100,000 円	100,000 円
その他の平和事業関係費 報償費 120,000 円 旅費 2,000 円 需用費 83,000 円 役務費 8,000 円 使用料及び賃借料 160,000 円 日本非核宣言自治体協議会分担金 60,000 円	433,000 円
合 計	1,366,000 円

## 非核・平和はみんなの願い

令和6年3月

編集 非核・平和をすすめる西東京市民の会

発行 西東京市 生活文化スポーツ部 協働コミュニティ課  
〒188-8666 西東京市南町五丁目6番13号 田無第二庁舎  
電話：042-420-2821（直通）  
FAX：042-420-2893（共用）  
E-mail：kyoudou@city.nishitokyo.lg.jp